

2024_0429「悲しく美しい最後のオーロラ（写真）」日々の理科 3553号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

今シーズンは太陽の黒点活動が非常に活発で、うまくいけば5月になってもオーロラの出現があるかも知れないと期待していました。しかし、4月下旬は現地の天気が悪く、なかなか観測ができませんでした。写真は4月下旬になってから観測された、恐らく今シーズン最後のオーロラです。

すでに北の地平線にも薄明が残り、恒星もほとんど見えなくなっています。画面左上に「カシオペア座」がかすかに見えています。悲しいまでに美しい、最後のオーロラでした。次に当地でオーロラを観測できるのは、恐らく8月下旬でしょう。これからは北極圏は白夜の季節を迎えます。

(2024年4月下旬／スウェーデン・ヨックモック郡ポルユス／遠隔観測)

